

PCB 廃棄物の焼却実証試験の実施について



環境省は、現在 PCB 含有塗膜の調査を進めており、今後、処理対象の塗膜の量が増加する可能性があること、また、最近になって、PCB を使用した感圧複写紙や汚泥の存在が新たに発覚した事例があることが課題となっており、こうした PCB 汚染物には PCB 濃度が 0.5%から 10%程度の物が含まれていますが、これまでの実証試験で用いた試料は 0.5%程度までのものでした。

そこで、PCB 濃度が 0.5%から 10%程度の PCB 汚染物の処理体制構築に向けて、関係自治体である神戸市、富山市、いわき市、秋田県並びに産業廃棄物処理施設の設置者である神戸環境クリエート株式会社、株式会社富山環境整備、株式会社クレハ環境及びエコシステム秋田株式会社の協力を得て、全国 4 か所において、PCB 廃棄物の焼却実証試験を実施することとなりました。

焼却実証試験の概要は以下のとおりです。

1.実施場所及び実施期間

- ・神戸環境クリエート株式会社(兵庫県神戸市):2019年6月6日～7日
- ・株式会社富山環境整備(富山県富山市):2019年6月13日～14日
- ・株式会社クレハ環境(福島県いわき市):2019年6月20日～21日
- ・エコシステム秋田株式会社(秋田県大館市):2019年6月27日～28日

2.実施内容

PCB を含む塗膜くず、感圧複写紙、シーリング材、汚泥、防護具、ウエス等の廃プラスチック類及び繊維くず等(PCB 濃度 0.5%から 10%程度)をプラスチック容器に入れて密閉したものを焼却炉に投入し、他の産業廃棄物と焼却ガスを 1,100℃以上の温度に保ちつつ 2 秒以上滞留させて混焼させて行うものとする。

焼却後の燃え殻、ばいじん、排ガス、排水及び周辺大気の PCB 濃度を分析し、周辺環境に影響を及ぼすことなく PCB が安全かつ確実に無害化処理されていることを確認する。

当社では、絶縁油中の PCB 分析に加えて、感圧複写紙やシーリング材等の PCB 汚染物の分析にも対応しております。ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

資料 [2019年5月24日付 環境省報道発表資料](#)

研究開発箇所 佐藤旭

The Knights of Environmental Science PCB 廃棄物を保管するお客様へ
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.0120-01-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

保管・処分の状況および高濃度PCB使用製品の廃棄見込みについての届出をお忘れなようご注意ください。
期日は6月30日まで、届出先は管轄する都道府県市の長です。
<http://www.knights.jp/knightsreport/reports/KR07005.pdf>

